

日刊 動労千葉

86. 6. 21
No. 2272

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

不当弾圧 関西新空港阻止闘争を高揚 うちくだき 6・15 現地-泉佐野市で全国総決起集会



自民党・警察・右翼・革マルらの空港推進派の常軌を逸した妨害・弾圧をうちく破って、市議選の勝利（5月19日・国選市当選）をかちとった泉佐野市で、新空港粉碎闘争は、本格的な発展をとりこぼさず

六月十五日、関西新空港建設予定地の大阪府泉佐野市野出町海岸において「六月地元同意―八月着工」阻止ノ六・一五関西新空港反対全国総決起集会が開催され、動労千葉は、二七名の部隊をもって集会・デモの先頭でたたかいぬいてきた。

関西新空港阻止へ 本格的反対運動がはじまった

マイクロボスの動員者は、十五日・正午、大阪港をのぞむ泉佐野の集会場へ到着した。

集会は十三時十五分、東灘区住民の会・山本善偉氏のあいさつで開会した。

次に主催者の泉州住民の会・森田恒一氏が「新空港建設は住民にとって憂いであつた。その憂いを堀りおこし一一五八票をかちとり当選した。警察は二年間にわたつて住民に『空港に反対する者は過激派』なる悪宣伝を行つてきたが、このような妨害行為は見事に失敗し、卑劣なデッチ上げ逮捕を行つてきた。全国から集まられた人々の怒りをこめてこの集会成功させたい」との決意が述べられた。

空港反対の声をつぶすため デッチ上げ弾圧を行う警察権力

基調報告にたった淡路町反対同盟・永井満氏は「今日は市民の皆さんも参加し、ともに市内をデモ行進ができることが嬉しくてしかたがない」と苦闘の末の勝利をかみしめるように話された。

そして、空港絶対反対をかかげ当選した国賀祥司氏は「今秋着工を阻止するた

めに頑張る」と決意を明らかにした。

いま、大阪府警は市議選で「詐偽投票」があつたとのデッチ上げをもって国賀氏支援の労働者七名を不当逮捕、さらに、数十名を逮捕せんとする大弾圧をかけてきている。二年間、大阪府警は空港建設を強行するためにあらんかぎりの治安弾圧を行つてきた。にもかかわらず空港絶対反対を訴える国賀氏が市民の支持を受け当選した。空港反対の議員の誕生、何よりも泉佐野住民の決起を恐れる警察権力は空港反対をつぶすためならどんなデタラメをやつてもいいという焦りからなされた攻撃であることが各氏より明らかにされた。

三里塚に学び 三里塚の ようにたたかえば勝てる

三里塚反対同盟・北富士忍草母の会から連帯のあいさつの後、動労千葉から水野副委員長がたち「泉佐野の勝利は三里塚―国鉄を闘う者の勝利だ。しかし国鉄労働運動破壊は、動労革マルの裏切りで急ピッチで進んでいる。この攻撃を許さない闘いが今こそ求められ動労千葉は上映・物販活動をその一環として取り組んでいる。動労千葉は第三波の闘いに怒りをもって起ちあがる」と決意を明らかにした。

その後、各団体からあいさつ・決意表明が行われ、四時に泉佐野の中心街へ向けてデモ行進に出発、駅前まで「空港反対」を訴え、警察権力の弾圧をはねのけデモを貫徹し、五時過ぎに車中において総括集会をもち全員元気に帰途についた。